



庶民の会
林田 勉 議員

問 旧「小早川邸」も、体験型宿泊施設にして島原に人を呼び込もう！

Q 小早川邸は魅力ある古民家、見学施設より稼げる宿泊施設として活用できないか。

A 初期投資後の維持管理費などは経営する中で、自ら稼いで続けていくという観点から、今協議をしている所である。

Q 本年施行の民泊新法で、宿泊施設として利用可能か。また管理運営の民間委託と、文化財指定の建物でも利益を得ることも可能か。

A 一定の条件を満たせば利用可能である。

Q 前回、旧堀部邸も「民泊施設に」との提案をしたが、その後利用方法は決まったのか。

A 新たな観光スポットに堀部邸も含めている。古民家を活用した全国の成功事例を踏まえ、島原らしいやり方をしたい。

問 「夜の街歩き」を観光テーマに「光の演出」！

Q 「夜の街歩き」を観光テーマにもっとライトアップに力を入れるべき。四明荘・鯉の泳ぐ町のライトアップは、どうなっているのか。

A 平成27年に設置以降、夏場の金土曜日に夜間ライトアップした。宣伝が浸透せず来られた人は少なかった。中途半端だったと思っている。

Q 島原城を、「日本三大夜城」にできないか。季節ごとの色の演出はどうだろうか。

A 築城400年事業の中でアイデアとして盛り込むことも可能と思う。

問 島原市のホームページで、地元産品を紹介し販売応援を！

Q 市のホームページは看板である。バナー広告欄に仮称「しまばら市場」の追加で販路拡大の機会を市民・小売店に無料で開放できないか。

A 事業として条件が整備できれば、官民一体となった取り組みとして、行政で応援は可能だと思う。



眉山クラブ
松井 大助 議員

問 築城400年を迎えるにあたり

Q 松倉重政公により築かれた島原城は、平成36年に築城400周年を迎える。松倉氏の没後、京都福知山から松平忠房公が入府されて以来、13代の長きにわたり島原を治められた。これらの史実が今日の福知山市、豊後高田市、そして愛知県幸田町との新たな付き合いへと発展している。改めて築城主である松倉氏の偉業を顕彰すべきではないか。

A 松倉重政公は奈良五条から日之江城に移り、さらに森岳の地に7年を費やして島原城を築城されており、島原の城下町の町並みをつくった歴史の原点に在る。本市を島原半島の政治、経済、文化の中心として発展させた本人でもある。築城主である松倉家との交流も視野に400周年記念事業に向けてアイデアを出していきたい。

Q 子供たちへ地元の歴史の指導はどのようにしているのか。

A 市民向けでは「広報しまばら」で歴代藩主の紹介をし、小学校では「私たちの島原市」の中で郷土の偉人を学んでいる。

問 大手川の美化

Q 昭和57年7月の長崎大水害では大きな被害を出した。その後、改修されて川幅が広くなり心配はなくなったが、時の経過により雑草や雑木が繁茂し景観を損ねており、大雨による増水時にも心配である。地元町内会などでも美化活動をされているが、手に負えない状況になっている。管理についてはどのようにしているのか。

A 管理者である県に確認したところ、流水機能が阻害されていないかを前提に、景観等も含めて清掃や土砂除去実施の優先順位を決めているとのことだが、引き続き要望していきたい。

【その他の質問項目】
◇霊南の埋め立て地の活用について